

第 58 期・2017 年度 事業計画および収支予算

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

一般社団法人 出版文化国際交流会

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町 1-2-1

Tel. 03-3291-5685 Fax. 03-3233-3645

<http://www.pace.or.jp>

2017 年度事業計画

はじめに

本会はおかげさまで60年を越える歴史を刻んでおりますが、これもひとえに会員社の皆さまの継続的なご理解・ご協力をいただけたからであり、改めて心より感謝申し上げます。今後も創立以来の基本理念を尊重しつつ、会員社の皆さまと国際交流基金を始めとする関係機関・団体等のご協力をいただいて日本の優れた出版コンテンツの海外普及に努めたいと存じます。

2017年度事業方針について

内閣府より一般社団法人として、健全な財政運営とともに移行認可条件である公益目的支出計画の着実な実施を求められています。今後も法人運営、事業実施の両面において一層堅実な運営に努めたいと存じます。

本会の公益目的支出計画の継続事業である、東京国際ブックフェアの本年度開催見送りが主催者側より発表されました。今のところ開催見送りは本年のみということのようですので、今後の展開を注視しながら来年開催の準備をいたします。

外務省、国際交流基金及び本会との協議により発足した「国際ブックフェア参加プロジェクト」は国際交流基金との共催事業として本年で31年目を迎えます。年々予算が縮小される傾向にありますが、よりよい成果を得られるよう尽力いたします。

将来的な発展が期待される東南アジア、中東地域の出版市場については国際ブックフェアを含む予備調査、情報収集を引き続き行っていきます。

第69回フランクフルト・ブックフェア、第23回ソウル国際ブックフェアでは、単独出展社のお世話をしつつ、日本会場を構成し出版文化の交流促進を図る役割を担います。特に昨年、統一したブースデザイン、4号館におけるベストロケーション、ハッピーアワー・パーティの盛況等で高い評価をいただいたフランクフルト・ブックフェアでは、関係者の皆さまのご協力をいただきながら拡充を図り、同時に新年度でも「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金（J・LOP4）」の申請を行い、出展社の経費負担の軽減を図っていく予定です。

フランクフルト・ブックフェアへの日本の参加のあり方について検討していただく「フランクフルト・ブックフェア出展社の会」では、出展関係者のご意見を幅広く伺い新たな企画の実施や出展環境の整備、出展社の増加に繋げていきたいと存じます。

広報活動では、会報の発行とホームページの充実を図っていききたいと存じます。評価の高い英文版・日本出版界の実用ガイド、『Accessing the Japanese Publishing Industry（略称 AJPI）』は版を改め最新の情報を盛り込みたいと存じます。

1993年より導入していただいている納本制度による特別賦課会費は本会の財政上、大きな役割を果たしております。新年度も引き続き会員社の皆さまのご理解・ご支援をぜひともお願い申し上げます。

2017年3月28日

一般社団法人 出版文化国際交流会
会長 竹内 和芳

事業計画詳細

I. 国際ブックフェアへの参加事業

1. 出展参加

(1) 第24回東京国際ブックフェア2017

今年度は開催見送りとなりました。来年度は開催予定とのことですので、主催者の動向をみすえつつ準備をすすめてまいります。

(2) 国際交流基金との共催事業により参加する国際ブックフェア

世界各地の国際ブックフェアで日本ブースは大変な人気を博しており、在外公館、国際交流基金の海外事務所を通してのブックフェア参加申請は例年、多数寄せられます。今年度は国際交流基金全体予算の大幅減により、新年度参加予定のブックフェア一覧は5頁のリストのとおりですが、限られた予算で最大の成果を得られるよう、事業を進めていく所存です。

クオリティの高い日本からの出展図書はブックフェア会場で来場者を魅了し、終了後は日本語学科のある大学等、関係機関へ寄贈され、長期にわたって活用されます。中南米や中東地域等、比較的日本の図書になじみの薄い国々に図書を届けられるこのプロジェクトは非常に有意義と好評を得ています。

またブースでの図書販売は現地書店の協力を得てソウル、中東各地で実現していますが、受注販売も含め香港、中南米等今後さらに拡大を目指していきたいと考えております。

(3) 第23回ソウル国際ブックフェア2017

今年度も国際交流基金と本会の共催ブースを設けます。好評な期間中の来場者への図書販売については引き続きトーハン、教保文庫の協力をいただき実施の予定です。国際交流基金と本会の共催ブース以外に、単独出展社のお世話も準備いたします。

(4) 第69回フランクフルト・ブックフェア2017

- 1) 従来と同様、日本インフォメーション・センター、共同展示場、単独出展社ブースの配置で日本パビリオンを構成します。
- 2) 昨年度好評をいただいたブースデザインの統一化を図り、日本パビリオンとして一体感を出し盛り上げてまいりたいと存じます。さらに要望の多いハッピーアワー・パーティにつきましても継続実施いたします。
- 3) 昨年度はアジア諸国の入る4号館1階で入口正面のベストロケーションを得られたので、今年度も同じ場所を得られるよう主催者と折衝を行っております。
- 4) 単独出展社ブースはサイズ、位置等、可能なかぎり希望に沿うべくブックフェア事務局と折衝し、出展環境の整備に努めたいと存じます。
- 5) 共同展示場には、国際交流基金との共催による総合的な「日本インフォメーション

ン・センター」(16 m²)と(一社)自然科学書協会、(一社)大学出版部協会の協力参加による共同展示コーナー、およびを1メートル幅のコーナー展示と商談スペース(計24 m²)を設置する予定です。

- 6) 図書の展示にあたっては、より有益な書誌情報が提供できるような体制を整えていくこととします。具体的には、ウェブサイト”Books from Japan”上に出展図書の英文書誌情報を掲載し、世界の出版関係者に事前周知するシステムを今年度も実施する予定です。この書誌情報は実際の展示にも有効活用させていただきます。
- 7) 出展社のご協力をいただきテーマ展示等の企画を試みたいと存じます。
- 8) 日本会場における書籍の展示・紹介にとどまらず、日本の出版文化を幅広く紹介するため、在フランクフルト日本総領事館、ケルン日本文化会館のご協力をいただく予定です。また生け花を始めとする他の国際文化団体との連携を図ります。
- 9) 昨年度に引き続き新年度も、情報を整理の上、単独出展社分を含めたブース借料、ブース設営費、送料等の出展経費に関し、「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金(J-LOP4)」の申請を試みたいと思います。
- 10) フランクフルト・ブックフェアへの日本の参加のあり方を諮問いただく「フランクフルト・ブックフェア出展社の会」は出展関係者のご意見を幅広く伺う形で一層の情報収集に努め、ブックフェア事務局との連携を密にし、出展環境の整備、出展社の増加に繋げていきたいと存じます。

2. 国際ブックフェア関連事業

(1) ライプチヒで開催される「世界で最も美しい本コンクール」へ出品

「第51回・造本装幀コンクール」の受賞作品を、(一社)日本書籍出版協会と共同出品いたします。本コンクールには毎年30ヶ国を超える国々から出品され、3月のライプチヒ国際ブックフェア開催時に表彰式が行われ、その年のフランクフルト・ブックフェアで全作品が特別展示されます。

II. 広報活動

1. 会報の発行

一昨年復刊した会報の発行を年2回に定例化させ、ホームページと併せて広く本会の活動をお知らせしていきます。

2. ホームページによる広報

ホームページ上で本会の活動を紹介。会員社を始め、オンライン書店、主要国際ブックフェアホームページへのリンク等の基本情報とともに、主要な国際ブックフェア開催日一覧や派遣専門家の最新報告等を行っていく予定です。

3. 『Accessing the Japanese Publishing Industry (略称 AJPI)』

英文版・日本出版界の実用ガイド

好評であった従来の『Practical Guide to Publishing in Japan』を受け継ぎ、より汎用性の高い形で一昨年度 AJPI を作成いたしました。具体的には A5 判変型、本文 32 頁、翻訳出版権・図書の売り込みや購入の商取引につながる基本情報、翻訳出版助成機関の紹介、主要な出版関連機関、団体の住所等、外国の出版関係者に有用と思われる情報をコンパクトに紹介する内容で、本会のホームページにも同じ内容を掲載しています。新年度については版を改め、最新の情報を盛り込みたいと存じます。

Ⅲ. 関連活動

納本制度の継続実施

ご協力いただいていない会員出版社にはご協力依頼を改めてお願いし、既にご協力いただいている会員出版社には更に上積みのご協力を引き続きお願いする所存です。

2017 年度参加予定の「国際ブックフェア」

国際ブックフェア名	会期	備考
1. 第 27 回アブダビ国際ブックフェア	4.26～5.2	
2. 第 43 回ブエノスアイレス国際ブックフェア	4.27～5.15	
3. 第 30 回テヘラン国際ブックフェア	5.3～13	
4. 第 23 回ソウル国際ブックフェア	6.14～18	事務局派遣
5. 第 28 回香港ブックフェア	7.19～25	
6. 第 22 回リマ国際ブックフェア (ペルー)	7.21～8.6	
7. 第 69 回フランクフルト・ブックフェア	10.11～15	事務局派遣
8. 第 62 回ベオグラード国際ブックフェア	10.22～29	
9. 第 31 回グアダラハラ国際ブックフェア	11.25～12.3	
10. 第 19 回モスクワ国際知的図書展 non/fiction	11.29～12.3	
11. 第 23 回マスカット国際ブックフェア (オマーン)	2018.2 下旬	
12. 第 36 回リヤド国際ブックフェア	2018.3.4～14	

【注】会期は未確定、実際と異なる場合があります。

第58期 2017年度(平成29年度)収支予算

自:H29年4月1日 至:H30年3月31日

一般社団法人 出版文化国際交流会

(単位:円)

項目	科目	H29収支予算案	H28収支予算案	増減
前期繰越		44,772,000	33,528,000	11,244,000
1 事業活動収入				
入会金収入		100,000	100,000	0
会費収入	会費収入	14,440,000	14,510,000	-70,000
	特別会費収入	420,000	450,000	-30,000
	特別賦課会費収入	6,622,000	6,839,000	-217,000
事業収入	フランクフルト・ブックフェア参加収入	27,447,000	22,557,000	4,890,000
	ソウル・ブックフェア参加収入	943,000	892,000	51,000
	国際交流基金預託金	9,670,000	8,084,000	1,586,000
補助金等収入	受取利息	400	5,000	-4,600
	雑収入	2,500	31,000	-28,500
その他	その他収入	291,000	300,000	-9,000
当期収入合計		59,935,900	53,768,000	6,167,900
前期繰越+当期収入合計		104,707,900	87,296,000	17,411,900
2 事業活動支出				
事業費支出	フランクフルト・ブックフェア参加費	30,796,000	25,031,000	5,765,000
	ソウル・ブックフェア参加費	1,605,000	2,147,000	-542,000
	国際ブックフェア参加費	693,000	1,063,000	-370,000
	国際交流基金預託金	5,426,000	5,748,000	-322,000
	東京国際ブックフェア参加費	353,000	500,000	-147,000
	調査費	1,090,000	905,000	185,000
管理費支出	給与手当	10,116,000	10,136,000	-20,000
	退職金	0	0	0
	福利厚生費	1,418,000	1,440,000	-22,000
	旅費交通費	943,000	870,000	73,000
	通信運搬費	983,000	1,019,000	-36,000
	印刷費	899,000	889,000	10,000
	会議費	206,000	214,000	-8,000
	慶弔費	13,000	24,000	-11,000
	保険料	7,000	7,000	0
	消耗品費	196,000	300,000	-104,000
	雑費	224,000	209,000	15,000
不動産関係	賃借料	1,854,000	1,854,000	0
	水道光熱費	200,000	200,000	0
税金関係	租税公課	87,000	84,000	3,000
その他	その他支出	2,000	19,000	-17,000
当期支出合計		57,111,000	52,659,000	4,452,000
次期繰越額		47,596,900	34,637,000	12,959,900

(注1) 借入金限度額 0円

(注2) 債務負担額 0円